

令和4年度第2回社会教育委員の会議

令和4年5月23日(月)

午後2時00分開会

|                |   |  |  |
|----------------|---|--|--|
| 開催日時           | 令和4年5月23日   | 開会14時00分<br>閉会14時45分   |  |
| 場 所            | 小金井市役所第二庁舎8階801会議室  |  |  |
| 出席委員           | 議 長 柴田彩千子<br>副 議 長 福井 高雄<br>委 員 黒木 智道<br>委 員 石原 芳<br>委 員 富田 謙次郎 | 委 員 諏訪 啓二郎<br>委 員 金澤 大恵<br>委 員 北澤 隆司<br>委 員 森本 榮子<br>委 員 鈴木 哲也 |  |
| 説明のため出席した者の職氏名 | 生涯学習部長 梅原 啓太郎<br>生涯学習課長 関 次郎<br>生涯学習部スポーツ振興担当課長 中島 憲彦           | 図書館長 内田 雄介<br>公民館長 鈴木 遵矢                                       |  |
| 事務局            | 生涯学習係長 倉澤 淳子  |  |  |
| 傍聴者人数          | 2名  |  |  |

| 日程 | 議 題     |   |
|----|---------|---|
| 第1 | 協 議 事 項 | (1) 会議録の承認について<br>(2) 地域学校協働活動事業について<br>(3) 管外視察研修について<br>(4) 社会教育関係団体への補助金交付について |
| 第2 | 報 告 事 項 | (1) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会について  |

柴田議長 皆さん、こんにちは。定刻少し前なのですが、おそろいですので、これから令和4年度第2回社会教育委員の会議を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。  
まずは、資料の御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 では、まず配付資料の確認をさせていただきます。

資料1、令和4年度第1回社会教育委員の会議の会議録、資料2、令和3年度地域学校協働活動主な活動実績について、資料3番、令和4年度委嘱地域学校協働活動推進員について、資料4、こがねい市民講師登録・紹介制度について、資料5、令和4年度管外視察研修について、資料6、令和4年度社会教育関係団体への補助金交付について、資料7、第53回関東甲信越静社会教育研究大会のチラシとなっております。

その他に、委員の皆さんのみに配付しているものにつきまして、上から確認いたします。小金井市立図書館基本計画、令和2年度公民館事業のまとめ、月刊公民館5月号、最後はキッズカーニバルのチラシが2枚お配りしております。

配付資料は以上となります。

柴田議長 不足していらっしゃるという方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。  
では、議題に入りたいと思います。  
まずは1番です。会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 (1) 会議録の承認についてです。

こちら、令和4年度第1回の会議録について、事前に皆様にメールでお送りいたしまして、修正部分を指摘いただいたところを修正したものです。再度、御確認いただければと思います。

柴田議長 こちらの会議録につきましては、皆様にメールで事前にお目通しいただいていると思いますが、修正、意見などがあれば、願いたい

たします。よろしいでしょうか。

では、この会議の議事録、承認されましたので、次に進みたいと思います。

(2) です。地域学校協働活動事業について。こちらにつきまして、事務局から御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 引き続き御説明させていただきます。

こちらの議題につきましては、資料2、資料3、資料4をおつけしております。

まず、令和3年度の地域学校協働活動について報告いたします。資料2を御覧ください。

昨年度は、第一小学校、前原小学校、緑小学校の3校で活動を行いました。

具体的な活動内容としましては、お示したとおりになっております。

表になっているものは、通年で行ったものや、夏休み中は毎日行ったものなど、ある程度継続的に行われた活動です。

そのほかにも、欄外にお示したとおり、第一小学校では学習発表会等の受付、給食配膳の手伝い、図書ボランティアなどの活動を行いました。緑小学校では、調べ学習の手伝い、まち探検の引率、防災授業などを行いました。いずれも各学校のニーズに応じた特色のある活動を行っていただいているところです。

地域未来塾につきましては、前原小学校と緑小学校で実施しました。参加児童はそれぞれ延べ503人、419人と、コロナでできない期間もあったにもかかわらず、多くの児童が参加しております。

続きまして、資料3を御覧ください。令和4年度の活動についてです。

地域学校協働活動を実際進めていただくために、各学校に地域コーディネーターを配置しております。今年度は新たに小学校4校、第三小学校、第四小学校、東小学校、南小学校、あと中学校1校、第一中学校が地域学校協働活動を開始する予定となっております。今年4月1日付で11名の方を地域コーディネーターに委嘱いたしました。それぞれの方の主な所属等、記入したとおりとなっております。

今年度、新たに活動を開始する学校を含め、各校が円滑に活動を進められるように、統括コーディネーターの方と協力して、今後、研修会などを行っていく予定でございます。

続きまして、資料4を御覧ください。こちらにつきましては、地域学校協働活動を行う人材を広く地域から集める仕組みを検討する材料としてお示ししております。

委員の方から、生涯学習で行っているこがねい市民講師登録・紹介制度をもっと活用できないかという御意見をいただいておりますので、現在のホームページに掲載している、こがねい市民講師登録制度の案内と、要綱をつけさせていただいております。

この制度の現在の状況は、登録自体は3年に1度更新しておりますが、ホームページのみの掲載となっております。お示ししているとおり、現在登録者は7名となっております、問合せ等はほぼないという状況です。

また、指導室の所管となりますが、小学校、中学校の学校ボランティアの案内と募集という制度を参考につけさせていただいております。こちらは指導室または学校で登録するもので、1年ごとの更新となっているとのことです。

それ以降につけております八王子市の教育支援人材バンクと近い制度かと思えます。なお、この学校ボランティアの活動につきましては、地域学校協働活動の範疇に含まれて、都の補助金の対象となっております。

議題2につきましてはの説明は以上となります。

柴田議長

御説明いただきまして、ありがとうございました。

ただいまの御説明につきまして、御質問や御意見などありましたら、お願いいたします。

石原委員

すいません。1ついいですか。

柴田議長

石原委員、お願いします。

石原委員

すいません。石原です。この内容、説明いただきありがとうございます。

つい先日、南中学校のほうで第1回目の運営協議会に出席してき

たんですけれども、去年度は南中は地域コーディネーターさんのほうを、やっと見つけるということまでしかできず、活動ができなくて、今年は活動していこうという話で進んでいるんですけれども、ただ、やっぱり地域コーディネーターさんの知っている人材とかというのは限られているというのと、小学校は今までやってきた見える化にするという方向でうまくいくんですけど、中学校はやっぱり小学校とは違うので、やっていきたいこととか、中学校でできる交流イベントだったりとか、学習サポートだったりとか、体験学習というのを、じゃあ、どういうふうに進めていこうかというところで詰まってしまっていて、次回、早急に進めたいということで、早めに次の会を開くことになったんですけど、委員のほうに、次、じゃあ、どういうことができるか考えてきてくださいというふうに宿題を出されているんですが、それでも出せる案って限られていたりするので、ぜひ、こういう講師の登録とか紹介のあっせん制度というのは、地域コーディネーターだったりとか、学校運営協議会のメンバーって、そういうのがあることを、私自身、今日、ほとんど初めて知ったに近い状況なので、もっと資料として社会教育委員会からとしてでもいいですし、生涯学習課からとしてでもいいので、ぜひ、そこに持ってきていただくと、こういうふうな講師もいるので、こういう体験学習に結びつくとかという方向性って、すごく見つけられやすいのかなって、今聞いて思いました。

全くないところから、じゃあ、去年、委員になったら考えてと言われても、思いつく人とつかない人、あと、つてがある人ない人で考え方って全然違ってくるのかなと思うので、ぜひ、そういったところまで結びつけていただくと、もっと、今年から入った一中さんとかもやりやすいかなと思いますし、前は指導室長さんも来られたので、そういう方に一步渡していただいて、御説明いただくだけで、かなり違うかなと思いますので、ぜひ、ここだけにとどまらず、もっと学校のほうにも広めていただくと、私はすごくやりやすいかなというふうに今感じたので、ぜひ御検討いただければ幸いです。よろしくお願いします。

柴田議長                      事務局のほうではいかがでしょうか。

関生涯学習課長    生涯学習課長です。

今、石原委員から御説明いただきました。まさに本当におっしゃるとおりだと思ひまして、事務的なお話をさせていただきますと、昨年度、南中学校も地域学校協働活動をやるという対象校で、事務的などころは進めてきたところでは。

しかし、やはり人材ですね。コーディネーターさんを選出、どなたにやっていただくかというところでは、最後は御協力いただきまして、今、お示しした方々に御協力いただきましたけれども、正直、難しかったです。これは多分、南中学校だけの話じゃないと思ひていまして、ほかの中学校も事業展開するに当たっては、多分、この課題があるだろうなど。だから6年間という小学校のスパンと、中学校の3年間というところと、児童と生徒の違い等々、あと放課後子ども教室が小学校でメインで行われている等という違いもあって、なかなか難しいかなと思ひています。また、いろんな事業がどんどん広がっていくにつれて、いろんなコーディネーターさんの御意見だとか、参考になるようなお考えもお伺いしながら進めていただければなと思ひます。そうやっていただきたいと思ひます。

また、校長先生と連携取りながら、さらに学校運営協議会とも連携取りながらやっていくものだと思ひています。

それと、あと人材の活用というところで、今回、資料としてお示ししましたこがねい市民講師登録というのは、これは従前からずっとあるもので、地域学校協働活動というものが始まる前からずっとあるものでした。

正直言いますと、なかなか活用まで至っていないというのが事実です。ただ、地域学校協働活動というものが始まって、地域の人材を生かすという点では、今、資料の提示という御提案もいただきましたので、これを活用する観点から、今後、PRというんですか、積極的な活用ということは、今後、進めていくべき課題と認識しています。

以上です。

柴田議長

ありがとうございます。そうですね。せっかくこがねい市民講師登録・紹介制度という制度があるので、これを機に、地域学校協働活動がスタートするというのを機に、こちらで幾つか立てていただければと思ひます。

小金井市民、たくさん力のある方がいらっしゃいますので、ぜひ、

いろんな方が地域学校協働活動に関わっていただければと思います。

ほかに御質問、御意見などありましたら、お願いいたします。

鈴木委員            いいですか。

柴田議長            はい。鈴木委員。

鈴木委員            鈴木です。

先日来、このこがねい市民講師登録制度とか、国分寺とか八王子の教育支援人材バンク、これを小金井でも絶対やったほうがいいという事でお話してきました。前向きなお答えをいただきありがとうございます。僕も石原委員と同感です。本当に地域や学校のお役を同じ人が何役もやっているなというのを一番感じていて、その人たちの持ってらっしゃるネットワークだけでやっているというのは、限界が有るし、地域に居る人材を十分に活かしていないのはもったいないなと思っているところです。

先程課長がお話しになったとおり、小中学校のボランティアのほうは指導室でやってらっしゃるということでよろしいんですよね？市立小中学校ボランティアの方は担当が生涯学習課と違うということで良いですか？

関生涯学習課長    生涯学習課長です。

そうです。学校教育部指導室の件です。

鈴木委員            もう少し、これがどういうふうに活用させていただいているかお調べいただけるということだったので、よろしければ次回の会議までに、どのような状況になっているかということをお示しいたきたいと思います。

以上です。

柴田議長            ありがとうございます。

ほかに御質問、御意見などありましたら、お願いいたします。

黒木委員、お願いします。

黒木委員

資料2の地域学校協働活動主な活動実績について、緑小学校では、清掃・消毒作業、うさぎの世話、地域未来塾というのが、定期的に行っている主な内容として紹介をいただいています。

その他の活動というところで、ここに幾つか挙がっていますが、学校からの要請がないと、コーディネーターの皆さんも動きづらいと思っています。緑小としては、何かあったときにはコーディネーターに相談してみるよう常に教職員に周知していますので、この学習のときにはといった相談をしていると思います。コーディネーターの方が活動するためのポイントとして、学校側から、様々な願いや相談をするということも大切だと、この表を見て思いました。

資料4-1の市民講座や紹介制度の案内についてです。ゲストティーチャーをお呼びして、子どもたちに話をいただいたり、一緒に活動をしていただいたりすることは、子どもたちもすごく喜ぶますので、ぜひ活用したいと思っています。

今のところ、登録されている方が7人いらっしゃるの、教育活動でお力をお借りしたいと思っています。更に登録される方が増えていくとありがたいと思います。

東京都でも同様の取り組みがあり、学校はそっちを活用する機会が多いのかもしれませんが。今後は小金井市民の皆さんの力もお借りしたいと思っています。

柴田議長

ありがとうございます。

黒木先生から、学校からの要請がないと、コーディネーターは、実際、動きづらいというお話をいただきましたので、こういったいろんな活動事例について、学校や校区の枠をまたいで、いろいろ情報交換をする機会が必要だと思います。ありがとうございました。

ほかに御意見や御質問などありましたら、よろしくお願ひします。  
鈴木委員。

鈴木委員

鈴木です。黒木委員に質問させてください。東京都の同じような事業というのは、具体的に、その名称とか分かれば、調べてみたいので、教えていただけますか。

黒木委員

人材バンク（ティープロサポーターバンク）のような名称がついています。

鈴木委員           それは、この学校教育とか学びに関してだけ。

黒木委員           そうです。

鈴木委員           ありがとうございます。以上です。

柴田議長           ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
では、御質問、御意見がないようですので、次に進みたいと思います。  
次は（3）です。管外視察研修についてです。  
事務局から御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長   御説明いたします。管外視察研修について、資料5を御覧ください。

今年度の視察につきましては、コロナ感染拡大防止の観点から、昼食を挟まずに、午後のみ、三鷹市1市への訪問とさせていただきます。

前半に、三鷹市教育委員会で三鷹市の地域学校協働活動の取組について御説明を聞いて、質疑応答などした後、実際、学校のほうに移動して、放課後の活動などの取組状況を視察する行程となっております。

視察日につきましては、現在三鷹市の担当の方が7月4日月曜日または7月6日水曜日で学校等と、調整していただいているところです。決まり次第ご連絡しますので、よろしくをお願いいたします。

柴田議長           御説明ありがとうございました。

この件につきまして、質問や御意見などありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

こちらの出席確認につきましては、また後ほど。

倉澤生涯学習係長   お日にちが決まりまして、ご連絡したときに、併せて出席確認をさせていただきます。

柴田議長           はい。分かりました。

いかがでしょうか。

補足をさせていただきますと、前半の教育センターでの取組、三鷹市の地域学校協働活動の取組の説明では、皆様の御要望どおり、学校3部制の3部の部分を中心に、市の担当課の方より説明をしていただいて、そこにその地域づくり活動の実践者の方にも来ていただいて、皆様と対話をしていただくということになるかと思っております。

後半の部分は現場に行き、放課後の子どもの居場所を地域の方がどういうふうにつくっていらっしゃるかというところを見ていただいて、社会教育の果たす役割を皆様と考える材料にしたいと思っております。

御質問や御意見がなければ次に進みたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

では、ないようですので、次に進みたいと思っております。

では、次は(4)社会教育関係団体への補助金交付についてです。事務局より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 ご説明いたします。社会教育関係団体への補助金交付についてです。

資料6を御覧ください。今年度の社会教育関係団体等への補助金交付予定一覧です。

社会教育団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならないと社会教育法で決められておりますので、議題とさせていただきます。

実際の補助金の交付については、資料6-2につけました補助金交付要綱に基づき行っております。

補助の対象となる団体は、社会教育関係団体として登録してから1年以上の実績があり、かつ構成員の2分の1以上が市内在住・在勤または在学の団体となっております。また、1団体につき5回が補助の上限となっております。

併せて、毎年補助申請をしております小金井市立小中学校PTA連合会と小金井市スカウト協議会についても補助申請が出ております。こちらにつきましては、小金井市補助金交付規則に基づいて、毎年交付をしております。

資料の説明は以上となっております。

柴田議長 御説明ありがとうございました。  
この件につきまして、御質問、御意見などありましたら、お願いいたします。

富田委員 富田ですが。

柴田議長 はい。富田委員、お願いします。

富田委員 この補助対象事業なんですが、例えば、PTA連合会に申請額15万円に対して15万円の交付予定額と出ているんですが、恐らく先期、前年になるんでしょうか。前年も同じぐらい出ているんじゃないのかなと私思うんですが、この辺の具体的な使途とかいうのは、何か具体的な資料はございますでしょうか。あればお教えいただきたいんですが。

柴田議長 では、事務局、御説明をお願いいたします。

富田委員 交付されてなければ、ないでいいんですけども。

関生涯学習課長 ちょっとごめんなさい。内訳ですよ。

富田委員 ただ、反対に、いや、申請だけでいいんですよと、使途はもうPTAなりに任せるんですよというのであれば、それはそれで僕はいと思うんですけども、ただ、ここに環境整備となっているものから、どういうふうな形の整備に使われているのかなと、ちょっと気になったものですから、質問させていただきました。

倉澤生涯学習係長 補助事業費の総額が44万6,566円となっております、それぞれ事業費に対する補助が8万5,000円、運営費に対する補助が1万円、印刷費に対する補助が5万円、消耗品費に対する補助が5,000円で、合計15万円の補助をさせていただいているという内訳になっております。

富田委員 そうですか。はい。ありがとうございます。

柴田議長           ありがとうございます。  
ほかに御意見。金澤委員、お願いします。

金澤委員           金澤です。  
質問です。このような事業のよくある報告書みたいなものとかは、あるものでしょうか？また、何かウェブサイトなどに出ているものでしょうか。

柴田議長           事務局から御説明をお願いします。

関生涯学習課長    すいません。生涯学習課長です。  
今、補助金出していますので、当然、その報告書という形ではいただいています。

金澤委員           公開されているものなどです。例えばよく事業などで、企業などの場合ですと、補助金に対して行った事業内容や、結論などの提出が義務付けられていたり、場合によっては公開されていたりとかあるかと思うのですが、例えば、こういうクリスマス会とか、お写真で、こういうのやりましたみたいなのとかがあったりするものなのではないでしょうか？

関生涯学習課長    生涯学習課長です。  
当然、補助金について、どういう形で使われたか、報告はいただきますが、それに対しての公開という形まではしていない状況です。

金澤委員           分かりました。

柴田議長           よろしいでしょうか。

金澤委員           はい。

柴田議長           ほかに御質問や御意見ありましたら、お願いいたします。  
黒木委員、お願いします。

黒木委員           すいません。教えてください。

申請する団体が4つなんですけれど、コロナだから少なくなったのかどうか。この団体の数というのは、どんな数なんですか。教えてください。

関生涯学習課長 生涯学習課長です。

申請される団体数については、P連とスカウト協議会、大体4団体です。当然、予算の範囲内という話になるんですけども、コロナによって、活動申請をいただいて、結果活動ができなかったってあるんですけど、減ったという形はなかったかなとは記憶しています。

以上です。

柴田議長 毎年、大体4団体、3団体ぐらいの申請があるということでしょうか。

関生涯学習課長 はい。そうです。P連、スカウト協議会で、大体それぐらいだったかなと思います。

柴田議長 ありがとうございます。  
ほかに御質問、御意見ありますでしょうか。

富田委員 富田です。もう一つだけ教えてください。

柴田議長 はい。富田委員、お願いします。

富田委員 この小金井市スカウト協議会というのは、ボーイスカウトとかガールスカウトのことでしょうか。それとも何か。すいません。ちょっと分からないものですから、お教えいただければ。

関生涯学習課長 そうですね。ボーイスカウト、ガールスカウト。

富田委員 のことですか。

関生涯学習課長 はい。

富田委員           はい。  
今、ボーイスカウトとガールスカウトは別々の活動になっている  
んですか。それとも一緒になっているんですか。

倉澤生涯学習係長   小金井スカウト協議会は、市内のボーイスカウト、ガールスカ  
ウトの各団委員長と指導者で組織されている団体です。活動自体は  
各団に分かれて行っていると思いますが、この補助はボーイスカウ  
ト、ガールスカウト両方の活動に対して行われるものです。

富田委員           そういうことなんですね。

倉澤生涯学習係長   はい。

富田委員           はい。  
結構、会員の方、いらっしゃるんですか。ボーイスカウト、ガー  
ルスカウト。

倉澤生涯学習係長   団体の会員数が昨年10月で218人となっております。

富田委員           そうですか。はい。これは男女合わせてですね。

倉澤生涯学習係長   そうです。

富田委員           はい。

柴田議長           ほか、いかがでしょうか。  
では、特にないようですので、こちらにつきましては承認された  
ということで、よろしく願いいたします。  
では、次に議題が終わりまして、報告事項に移りたいと思います。  
報告事項の1番、第53回関東甲信越静社会教育研究大会につい  
て、事務局より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長   御報告いたします。資料7を御覧ください。  
11月10日、11日に開催されます第53回関東甲信越静社会  
教育研究大会の山梨大会のチラシが届きましたので、こちらに御報

告いたします。

今年度も委員の方お二人分、予算を計上しておりますので、参加御希望の方は、本日決まっていれば本日、あるいは御検討いただき、後日でも結構ですので、御連絡いただければと思います。

柴田議長

ありがとうございます。

2人まで御参加いただけるということですが、どなたか御参加したいという方、立候補いらっしゃるのでしょうか。昨年度は福井委員と森本委員が御参加されました。昨年度の様子なども御参考に、簡単に御説明いただければと思いますが、いかがでしょうか、福井委員。

福井副議長

ちょっとお待ちください。

柴田議長

はい。

福井副議長

私は、委員の1期目から毎年参加させていただいており、静岡大会、長野大会、埼玉大会と参加しました。この大会は各ブロックの事業報告というものがあるんですけど、その後、懇親会ということがありまして、フリーで座るわけじゃなくて、指定されている場所に座るんですけど、たまたま隣の人が長野県の方とか千葉県の方とか、当然、社会教育委員の方プラス、その県の所属されている市役所の職員等が来られております。2年前は、地域学校協働活動、市川市の職員の方が、たまたま隣のところで同席しまして、ぜひ地域学校協働活動を学ぶなら、市川市としては、市の組織として、課として運営していますよと、いつでも見学等で協会に来られるなら協力しますというような、そういう面でフリーでお話ししていただく機会もあるということで、できたら積極的に委員の皆さんも御参加されて、そういう懇親会等で社会教育委員の隣の市の方がどうしているかということも学べる機会があるということで、非常に参考になる大会だと思います。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

森本委員、いかがでしたか、去年。

森本委員 一昨年になりますか、社会教育委員になって初めての参加でした。2日間の開催でしたので、1泊したのですが、埼玉でしたので、1回うちに帰れたかなと思ったことが、今、頭に浮かびました。それが1つです。

それで、もう一つはやはり皆さんそれぞれ、同じ地域の方が固まらないようにということで、各地の方々とご一緒でしたのでそれぞれの地域ならではのいろんなお話聞けて、とても参考になりました。私は、小金井でしている科学の祭典の話をしたのですが、東京の様子を話したら、東京はいいわね、たくさんの方がいるから、大きな規模でやれているんですねと言われたのを、今、思い出しております。

このような勉強の機会はできるだけ捉えて出るのがよろしいかと思っております。本当に1年目、何も分からずでしたから、大変勉強になりました。この2年間は、本当に残念ながら、いろんな機会が潰れてしまっておりますので、勉強の機会がなく、自分自身これでいいのかと思いつつながら、ここに座っております。

以上です。

柴田議長 ありがとうございます。

立候補という方、いらっしゃいますでしょうか。ぜひ、今年参加してみたいという方。

鈴木委員 聞いていいですか。

柴田議長 はい。鈴木委員。

鈴木委員 鈴木です。これ、宿泊費と交通費は自腹なんですか。

倉澤生涯学習係長 宿泊費、交通費とも予算化しております。

鈴木委員 そうですか。

倉澤生涯学習係長 はい。

鈴木委員 自分で3,500円負担しなきゃいけない。

倉澤生涯学習係長 大会参加費も予算計上しており、委員の方の自己負担はございません。

鈴木委員 そうなんですね。じゃあ、僕、行ってみます。

柴田議長 はい。じゃあ、お一人、鈴木委員に決まりました。  
ほか、いかがでしょうか。もし、いらっしゃらなければ、また後ほど、個別に御希望の方は事務局に御連絡いただければと思います。そのように進めさせていただいてよろしいでしょうか。  
ありがとうございます。では、鈴木委員、実り多い研修となりますよう、またいろいろお話伺うのを楽しみにしています。

鈴木委員 大丈夫かな。そっちはちょっと。

柴田議長 本日の議事日程は以上でございますが、事務局より何か伝達事項などございましたら、お願いいたします。

倉澤生涯学習係長 特にないです。  
では、今後の日程について確認させていただいてもよろしいでしょうか。

柴田議長 はい。

倉澤生涯学習係長 レジュメの4番ですね。今後の予定についてです。  
議題でも上げましたとおり、次回の第3回社会教育委員の会議は管外視察研修となっております。  
日時、7月4日または7月6日の午後を予定しております。こちら、はっきり決まり次第、皆様のほうにメール等で御連絡させていただきます。  
マイクロバスで移動する予定でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、第4回の社会教育委員の会議、こちらは8月22日月曜日の午前9時30分からとなっております。すいません。ちょっとこの会場が取れませんか、本庁舎のほうの3階の第1会議室で開催する予定でございます。また、日が迫りましたら、御連絡は

いたしますので、お間違いのないようにしていただければと思います。

この会議終了後、8月の小委員会の日程を決めたいと思いますので、小委員会委員の方は少しだけお残りいただくように、お願いいたします。

以上です。

柴田議長

ありがとうございます。

皆様から何かありますでしょうか。富田委員、お願いします。

富田委員

富田ですが。

今、この委員会の中で、分科会ってございますよね。それで、分科会の中でいろいろ協議されると思うんですが、そういうのはここで教えていただけないんでしょう。

柴田議長

小委員会の内容ですか。

富田委員

はい。内容。概略でもいいんですけども。だから、どういうことがお話しされて、こういうふうなことが決まりましたよとかいうふうな話があると思うんですが、そういうのをお聞きしたいなと思ったものですから。

柴田議長

小委員会は1週間前に開催をしまして、本日、議題に関するについて事前に話合いをしたんですけども、主に（2）の地域学校協働活動事業について、こちらについてコーディネーターの先ほどの資料、事務局からお示しいただいたものについて、市民講師のコーディネートをいかにしていくかということや、地域を支える人材養成について情報交換を皆さんでしました。

小委員会の話合いの内容をこちらにどういうふうに反映していくかは今後の課題かと思います。

倉澤生涯学習係長 小委員会で話し合った内容につきましては、要点筆記という形で次回の本会議からお出ししたいと思います。

柴田議長

課長、お願いします。

関生涯学習課長 小委員会の細かい話合いを踏まえた、今日の本会議だというのが、進め方になります。本会議を円滑に進めるための前段階においての打合せということになります。

今、議長から話がありましたとおり、例えば、資料の出し方だとか、じゃあ、こういう形で出すかだとかいうことも、そういった細かい話をさせていただいているというところがありますので、もちろん、これ公開しているというものではないんですね。それは公開したのは今日の会議になりますので。ただ、今、要点筆記という形で、そんな議論もたしかあったかなとは思いますが、基本的には、小委員会での整理を踏まえて、本会議を開催するということです。

富田委員 富田ですけれども。

今のお話の中で、コーディネーターに関してのお話があったということですが、例えば、今日これ討議すると議題に入っていましたよね。その議題に入ったときに、いや、実は小委員会でこういうふうな話があったんですよというふうなことで、導入部分で入れていただくと、我々ももうちょっと理解しやすいのかなと思ったものですから。

柴田議長 確かに、貴重な御意見ありがとうございました。  
ほかに、そのほか、皆様から何かありますでしょうか。

鈴木委員 いいですか。鈴木です。

柴田議長 はい。鈴木委員。

鈴木委員 今回の富田委員の話は全くそのとおりだなと思っていて、前回か前々回、金澤委員からも同じお話があったと記憶しています。出せる範囲ということになるんだと思いますけれど、せつかくこれだけの人が集まって話をする機会なので、できるだけ小委員会で話した内容が皆さんで共有できるようになることがいいと思います。

それとあと、このチラシを資料に混ぜてお示ししていると思うんですが、小金井のキッズカーニバルというのが、6月11日、

12日に開かれます。その中で、このWhy小金井People、意見表明する中学生というイベントがあって、去年はなかなか、いろいろ中学生が思い切った意見を言って、そこから小金井市内で問題が提起され、大人達もその問題に気づいて、それを少しずつでもいいから協働で解決しようという動きも出てきているようです。

上手な意見表明というのは、難しいお勉強よりも、これから大事になってくると思いますので、また、急に言われてできることでもないと思いますので、ぜひ子どもたちの意見というか、中学生がどんなことを考えているのかというようなことを聞きに来ていただけたらと思います。

以上です。

柴田議長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の社会教育委員の会議は、これにて終了とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。

— 了 —